



広報

# 川越

—No. 491—

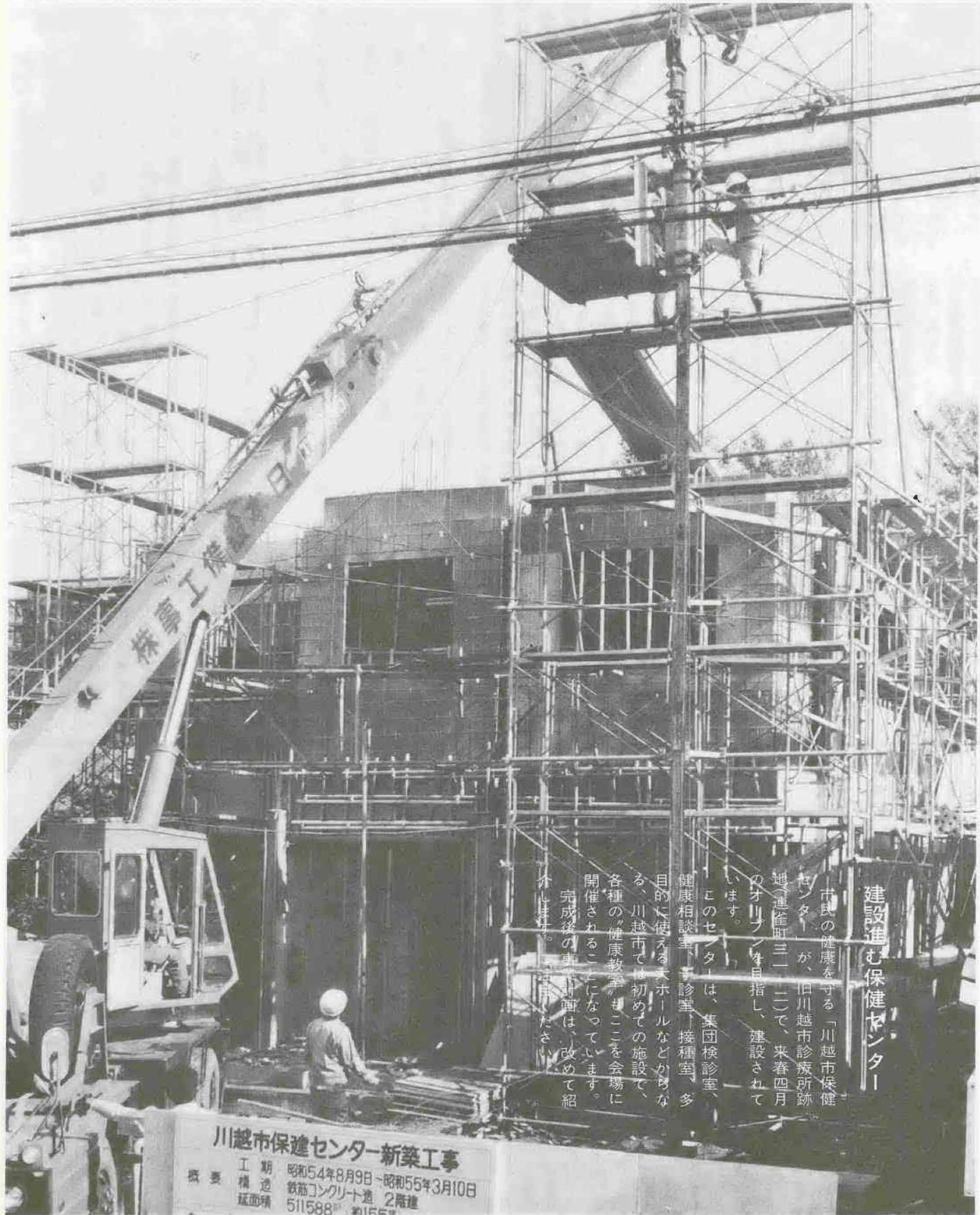
11月 25日

■発行所 川越市役所

■電話 川越(0492)24-8811(代)

■発行人 川越市長 加藤龍二

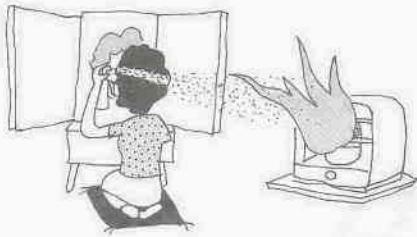
■編集 企画財政部企画課





## 知らなかつたで すまされない

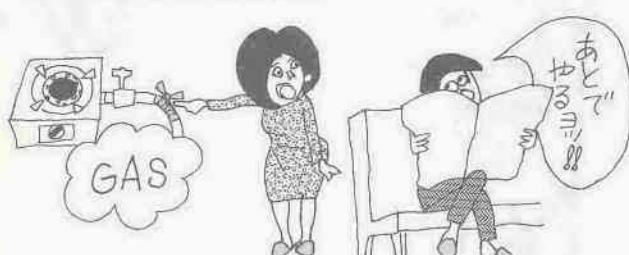
ダイナマイトで人に危害を加えて、「ダイナマイトが危い物であることを知らなかつた」。これですまされますか。危険物は家庭の中にもたくさんあります。焼けたあとで「こんなことになるとは……」ではすまされません。



会社員のり子(30歳)さん。今日は妹の結婚式。鏡台の前で顔にクリームやおしろいをペタペタ、パタパタ。最後の仕上げにと髪にヘアースプレーをシューとかけて、さあ終つたとまづ一服。ライターでタバコに火をつけたとたん、ポーツと髪に火がついで、顔と頭に大やけどをしてしまった。ヘアースプレーの蒸気は引火しやすいということを知らなかつたための大失態。

## 「分かつてます」が危険

「なまける」ということは何につけてもよくありません。焼けてしまつてから、「あのときやっておけば…」では、あの祭りです。「危ないな!」と思ったらすぐ確かめる。これが肝心です。



めんどうさがりやのE(40歳)さん。横のものを縦にもしない。奥さんから「古いガスのゴム管を取り替えて」とだのまれても「あとでやるよ」と知らぬ顔。奥さんも困つたものだと思いながらも、そのまま使っていた。ところがある日、このゴム管からもれたガスに冷蔵庫のモーターのスイッチの火花が引火、爆発を起こしてしまった。

## 慎重の上にも 慎重を

「失敗は成功のもと」といわれますが、こと火災に関しては失敗は許されません。奥さんは火気取扱いの「ベテラン」。「弘法筆をあやまる」ということのないよう火の取扱いは慎重の上にも慎重に……。



商店をしているF(35歳)さん。石油ストーブの燃料が少なくなつたのに気づいて、補給をはじめた。が、火はつけっぱなし。そばについていれば大丈夫と安心していた。ところがあ店での客の声がしたため、反射的に体を店の方へよじつた瞬間、ホースがはずれ吹き出した灯油に火がつきもえあがつた。

# 火災予防の

## 上手に使う

これがお客様に不快感を与えては、というデリケートな女性ならではの配慮かららしい。  
が、ここから彼女の火災の第一歩が始まる。一日に何度もサイフを探してウロウロというのが得意な彼女。さて……、揚げものが終わってお菓子を母屋へ。それから数分後、「火事だー！」叫び声とともに、血相を変えたとなりの人が、飛びこんでくる。「どこが！」  
「お宅だよ！」  
そんなやりとりの中で、初めて「アッ！あの油！」って、火にかけっぱなしの天ぷらナベを思い出したという。

揚げものが終わつてお菓子を母屋へ。火を見ただけで気が動転して、ただオロオロといふどこかの奥さなとは違う彼女は、ここで本領を発揮する。火が出てからここまでわずか二分。彼女が気づいてから約一分ぐらゐ。冷静、機敏な行動で、アツいままに、火を消してしまつていた。が、そのときの状態を彼女は、一ただもう夢中で……それに近所に迷惑がかかつては……と、必死に思つてあつたことを話す。



# 常識イロハ

## 心得集

### 火が出た そのとき あなたは

揚げものを置いていたナベに火が入つた。そんな経験はないだろうか。その場にいて、サッとふたをして、あやうくセーフ。そんな経験がない。日ごろ火を扱う機会が多い主婦にとって、生活と火災は切つても切り離せないもの。ついウツカリ不慣れ、不注意、失敗などなど、その行動一つ一つが火災に結びついている。

では、もし、火が出たら、そのときあなたは——。そこで、今年に入つて、実際に火災を体験した川越良子(仮名・五十歳)さんに話を聞いてみた。

## あぶない 切り忘れ 消し忘れ

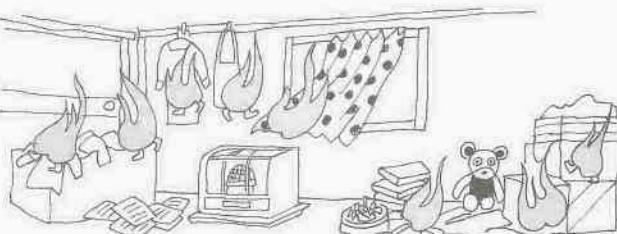
「忘却とは忘れ去ることなり」という言葉がありますが、この忘れるということは火災の場合絶対に許されることではありません。“ついうっかり”が火災になった例は数多くあります。



晩ごはんのしきくをはじめた主婦A(30歳)さん。ガスコンロで天ぷらを揚げている最中、来客があつたがすぐ話がすむと思って火を消さずにその場を離れてしまつた。ところが話に花が咲き、天ぷら鍋をかけていたことをすっかり忘れてしまつた。Aさんが話しこみでいる間に、油が過熱され鍋の中に火が入つて火災になつた。

## 防火の1歩は 整理整頓から

「だらしがないネエ……」といわれる人がいます、火のまわりを散らかしたり、部屋の中が乱雑になつても平気な人。これでは、どうぞ火災になって下さいといわんばかり。



主婦のB(25歳)さん。近所でも定評のある美人だが大の掃除がいい。家のまわりにはいつもダンボールやゴミがちらかっている状態。「もううよつときれいにしたら」と近所の人からうわさされる始末。たまたま夏の夜、庭先で子供をさせがまれ花火あそびをしている最中、花火の火が付近にちらかっていたこの山にもえうつって火災になつた。



## 慣れた火に 新たな注意

人は同じことを繰り返してやっているうち次第にそのことに慣れてしまうものです。はじめのうちは細かい注意をはらっていても長い間、事故を起こさないでいるといつもゆるみがち……。こんなとき、火災が起きるものです。



お風呂好きの主婦のC(28歳)さん。今日も風呂をたてよう水をはって火をつけた。しばらくすると風呂場から異様な臭いがしてきた。早めに気がついたらしいようなものの、あぶなく火災になるところだった。これは慣れすぎて風呂のせんをいきかげんにしたため水がもれ、空ききになつたもの。







## 市議会だより



# 第五回定例会から

## 城南中学校増築工事など十九件を可決

市議会第五回定例会は、九月三日午後一時市役所に招集されました。招集にあたつての件名は「昭和五十二年度川越市水道事業決算認定について」ほか二十一件でした。また、最終日（十月十六日）に追加議案二件が提案されました。

### 条例

▽ 非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めることについて  
—原案可決—

—原案可決—

▽ 川越市役所出張所設置条例等の一部を改正する条例を定める  
ことについて  
—原案可決—  
町の区域の新設に伴い、霞ヶ関北出張所の所管区域に新たに霞ヶ関東二丁目から五丁目まで及び的場北一丁目、的場北二丁目を加えたものです。なおこれによつて農業委員の選挙区及び定数条例も改正されました。

### 継続審査の結果

去る六月一日開会の本市議会第四回定例会において、継続審査の付託を受けた「仲町地区内に建設された大字のうち、公共福祉を増進するため大字の十一階建マンションに関する請願について」は、閉会中建設常任委員会において慎重審査されましたが、さらに継続審査とすることに決定いたしました。

▽ 町の区域をあらたに画することについて  
—原案可決—  
市民生活と行政上の不便を解消し、公共福祉を増進するため大字のうち、公共福祉を増進するため大字の十一階建マンションに関する請願については、閉会中建設常任委員会において慎重審査されましたが、さらに継続審査とすることに決定いたしました。

今定例会に提案された「昭和五十三年度川越市水道事業決算認定について」は第三日（九月五日）に「水道決算特別委員会」を設置しその審査を付託いたしました。第十九日（九月二十一日）同特別委員会において審査した結果、なほ慎重に審査する必要があるため「継続審査」とすることに決定いたしました。

なお、本決算審査のための特別委員会の構成はつきのとおりです。

### 特別委員会を設置

委員長	間仁田 春二	議員
副委員長	岡島 和夫	議員
委員	牛窪 音次	議員
委員	井上 勇	議員
委員	沢田 勝五郎	議員
委員	田島 嘉平	議員
委員	木村 昭寿	議員
委員	宇津木 豊太郎	議員
委員	山之内 克雄	議員
委員	孝輔 議員	議員
委員	正雄 議員	議員

新しくなった町名図

